

# 東北地方太平洋沖地震被災地支援活動の記録

静岡県現地対策調整本部要員派遣第20陣大槌班

派遣職員 杉原幸弘

所属 納税課

<p><u>1 派遣期間</u></p> <p>平成23年 8月 4日(木) ~ 平成23年 8月13日(土)</p>
<p><u>2 派遣先及び主な活動場所</u></p> <p>岩手県上閉伊郡 大槌町役場(町民課) 8月7日のみ山田町役場(建設課)</p>
<p><u>3 支援活動の内容及び活動の状況</u></p> <p>活動の内容</p> <p>大槌町役場(町民課): 住民票の発行、戸籍謄本の発行、印鑑証明の登録・発行及びこれらの手続きに来られた方の申請受付事務、来庁者の他部署への案内及び連絡調整など。</p> <p>山田町役場(建設課): 仮設住宅入居者への支援物資(扇風機や掃除機など家電製品)の運搬及び仮設住宅入居者の状況確認。</p> <p>活動の状況</p> <p>避難所から仮設住宅への入居のピークを過ぎていたこともあってか、窓口業務には特に大きな混雑もありませんでした。派遣当時、真夏ということもあり屋外での活動は身体への負担が大きく、水分補給や休憩を定期的に取り必要がありました。</p>
<p><u>4 活動を通じて感じたこと</u></p> <p>自らも被災者でありながらその様な事を微塵も感じさせず、明るく元気に町民と接する職員の姿に感銘を受けました。</p> <p>本来の公務員のあり方を教えられたと思います。</p>
<p><u>5 支援活動から見た被災状況など</u></p> <p>派遣当時、被災地では津波被害による瓦礫などの撤去が終盤に差し掛かっており、集積所は大量の廃棄物が文字どおり「山」となっていました。残った建物(役場・図書館等)は津波による破壊と土砂の流入により廃墟と化していました。</p> <p>道路網は順次開通・修繕がされていましたが、鉄道はまったく手がつけられず瓦礫の撤去のみされてそのままでした。</p> <p>個人の飲食店、コンビニエンスストア、コインランドリー、スーパーマーケットなども営業を再開し、少しずつ生活が営まれるようになってきていましたが、時折揺れる余震や手付かずの荒廃地を見ていると震災はまだ「終わって」おらず、復興も「始まっていない」のではないかと...、と思いました。</p>